

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 大

上場会社名 アイエックス・ナレッジ株式会社  
 コード番号 9753 URL <http://www.ikic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営情報本部 経理部長

(氏名) 安藤 文男

(氏名) 石井 嘉範

TEL 03-6400-7000

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,290	△3.3	△85	—	△64	—	△55	—
24年3月期第2四半期	7,538	4.4	△103	—	△53	—	△37	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △91百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △50百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△4.73	—
24年3月期第2四半期	△3.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,168	—	3,514	—	—	42.9
24年3月期	8,687	—	3,691	—	—	42.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,508百万円 24年3月期 3,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,906	3.8	289	109.6	318	60.2	174	—	14.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	13,034,660 株	24年3月期	13,034,660 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	1,362,878 株	24年3月期	1,208,380 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	11,732,723 株	24年3月期2Q	11,909,587 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページを参照してください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

※ 当社は、以下のとおりに投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成24年11月19日(月)・・・機関投資家・アナリスト向け

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として緩やかに回復傾向を辿りましたが、欧州の債務問題に端を発した海外経済の下振れや長引く円高などのリスク要因に加え、中国など新興国での経済成長の動きにも減速感が拡がり、先行き不透明な状況が続いてまいりました。

情報サービス市場におきましては、これまで見送られてきたシステムの更新需要が顕在化し、また、クラウドコンピューティングやアウトソーシングの分野で新たなサービス提供の動きが見られましたが、国内景気の先行きに対する不透明感を反映し、企業の情報化投資は総じて慎重な動きを脱しきれず、市場環境は依然として厳しい状況が続いてまいりました。

当社グループではこのような状況に対応するため、引き続き採算重視の受注姿勢を維持するとともに、組織力を活かした提案型の営業活動を推進してまいりました。また、生産活動においては、大連愛凱系统集成有限公司（中国・大連市）を中心とする情報システムのオフショア開発を展開するとともに、顧客の信頼向上と収益改善に向けて品質管理やリスク管理の徹底を図ってまいりました。

このような中、コンサルティング及びシステム・インテグレーション・サービス業務におきまして、金融分野では銀行系証券会社の基盤更改及び合併等の大型案件を獲得し、また証券取引所関連の次期システム開発案件やメガバンクの統合案件にも携わりました。製造業では、大手エレクトロニクスメーカー系の大容量記憶装置の組込みシステム開発案件で引き続き高水準の受注を実現し、公共分野ではガス関連の受注案件が順調に推移しました。さらに新規案件として、人材派遣業のスタッフ管理システム開発の大型案件を獲得いたしました。しかしながら、地方事業所は引き続き事業環境が厳しく、さらに情報・通信分野での携帯電話の料金系システムの大型開発案件が終了したことにより、当業務の売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

システムマネジメントサービス業務におきまして、統合システム運用管理ツールを利用したシステム運用構築案件の需要が好調でしたが、新規案件の受注が依然として低調であり、また継続案件についても受注単価の引き下げ要請があり、前年同期並みの受注水準で推移いたしました。

当期間における情報サービス市場は全般に案件の規模縮小や契約期間の短縮化の傾向が強まり、発注単価の引き下げ要請も相次いだことから、当社においても業績面では前年同期に比べ売上高の減少を余儀なくされました。一方利益面では、技術者の稼働率が向上し、外注費の抑制に努めたことから、ほぼ前年同期並みの水準を維持することができました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は7,290百万円で前年同期比3.3%減。また、損益面では、営業損失85百万円（前年同期は103百万円の損失）、経常損失64百万円（同53百万円の損失）、四半期純損失55百万円（同37百万円の損失）を計上いたしました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ519百万円減少し8,168百万円となりました。これは主に資産の部では「現金及び預金」の減少246百万円、「受取手形及び売掛金」の減少349百万円、「仕掛品」の増加111百万円であり、負債の部では「1年内返済予定の長期借入金」の減少100百万円、「未払金」の減少131百万円を反映したものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末に比べ176百万円減少し3,514百万円となりました。これは主に「利益剰余金」の減少114百万円、「自己株式」の増加26百万円、「その他有価証券評価差額金」の減少36百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の42.4%から42.9%となっております。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ246百万円（7.6%）減少し、当第2四半期連結会計期間末には2,972百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は35百万円（対前年同期比85.0%減）となりました。

これは主に収入では売上債権の減少349百万円、支出ではたな卸資産の増加114百万円、仕入債務の減少73百万円、未払金の減少124百万円を反映したものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は13百万円（対前年同期比3.0%増）となりました。

これは主に固定資産の取得によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は268百万円（対前年同期比24.0%増）となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出183百万円、配当金の支払額58百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、長期化するデフレや円高さらに欧州債務問題等経営環境の厳しさは続くものと思われれます。

このような状況の中、当社グループにおきましては、長年培ってまいりました業務ノウハウとユーザー企業からの信頼を基礎に、経営トップから現場技術者までの多段的営業活動により新規案件の受注獲得に注力してまいります。

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年10月26日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、売上高15,906百万円（前期比3.8%増）、営業利益289百万円（前期比109.6%増）、経常利益318百万円（前期比60.2%増）、当期純利益174百万円（前期は84百万円の損失）と予想しております。

なお、上記の業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

四半期会計期間に係る法人税等については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ743千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,218,918	2,972,789
受取手形及び売掛金	2,390,421	2,041,285
商品	2,062	4,234
仕掛品	296,465	408,425
繰延税金資産	400,892	430,197
その他	187,186	166,917
貸倒引当金	△414	△414
流動資産合計	6,495,531	6,023,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	164,280	148,074
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	74,788	97,445
土地	119,332	117,607
有形固定資産合計	358,401	363,127
無形固定資産		
ソフトウェア	118,589	104,505
その他	15,689	14,789
無形固定資産合計	134,279	119,295
投資その他の資産		
投資有価証券	607,826	557,485
繰延税金資産	827,185	838,004
その他	265,242	267,741
貸倒引当金	△700	△400
投資その他の資産合計	1,699,555	1,662,831
固定資産合計	2,192,236	2,145,253
資産合計	8,687,767	8,168,689

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	444,318	370,388
1年内返済予定の長期借入金	320,897	220,647
未払金	578,413	446,601
未払法人税等	18,131	23,274
未払費用	5,298	31,798
賞与引当金	597,925	646,446
受注損失引当金	25,294	19,263
資産除去債務	2,893	—
その他	249,837	252,430
流動負債合計	2,243,008	2,010,849
固定負債		
長期借入金	312,668	229,402
退職給付引当金	2,020,786	2,051,294
資産除去債務	59,957	60,606
長期未払金	359,862	301,834
その他	394	554
固定負債合計	2,753,668	2,643,692
負債合計	4,996,677	4,654,542
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,897	1,180,897
資本剰余金	1,908,212	1,908,212
利益剰余金	898,262	783,582
自己株式	△320,816	△346,875
株主資本合計	3,666,556	3,525,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,555	△17,649
その他の包括利益累計額合計	18,555	△17,649
少数株主持分	5,978	5,980
純資産合計	3,691,090	3,514,147
負債純資産合計	8,687,767	8,168,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,538,519	7,290,362
売上原価	6,439,150	6,182,536
売上総利益	1,099,369	1,107,825
販売費及び一般管理費	1,202,419	1,193,757
営業損失(△)	△103,050	△85,932
営業外収益		
受取利息	164	256
受取配当金	8,734	10,722
助成金収入	29,786	11,506
持分法による投資利益	7,464	—
負ののれん償却額	4,267	—
その他	6,685	5,901
営業外収益合計	57,102	28,387
営業外費用		
支払利息	2,670	3,657
投資事業組合運用損	1,457	1,413
持分法による投資損失	—	1,309
支払手数料	2,948	—
その他	469	346
営業外費用合計	7,545	6,725
経常損失(△)	△53,493	△64,270
特別利益		
固定資産売却益	—	2,870
特別利益合計	—	2,870
特別損失		
固定資産売却損	—	1,197
固定資産廃棄損	1,671	2,801
特別退職金	—	12,986
その他	50	—
特別損失合計	1,721	16,985
税金等調整前四半期純損失(△)	△55,214	△78,385
法人税等	△17,907	△22,838
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△37,306	△55,547
少数株主利益	151	1
四半期純損失(△)	△37,458	△55,548

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△37,306	△55,547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,636	△36,205
その他の包括利益合計	△13,636	△36,205
四半期包括利益	△50,943	△91,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△51,095	△91,753
少数株主に係る四半期包括利益	151	1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△55,214	△78,385
減価償却費	47,896	54,782
退職給付引当金の増減額(△は減少)	77,379	30,508
賞与引当金の増減額(△は減少)	△58,766	48,520
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△600	△300
受取利息及び受取配当金	△8,898	△10,978
支払利息	2,670	3,657
持分法による投資損益(△は益)	△7,464	1,309
固定資産除売却損益(△は益)	1,671	1,128
売上債権の増減額(△は増加)	556,173	349,135
たな卸資産の増減額(△は増加)	△130,758	△114,132
仕入債務の増減額(△は減少)	△90,273	△73,929
未払金の増減額(△は減少)	854	△124,658
未払消費税等の増減額(△は減少)	△46,981	△4,080
長期未払金の増減額(△は減少)	△6,400	△58,028
その他の特別損益(△は益)	—	12,986
その他の資産の増減額(△は増加)	9,702	20,037
その他の負債の増減額(△は減少)	△31,401	2,326
その他	1,507	1,413
小計	261,096	61,312
利息及び配当金の受取額	8,898	10,978
利息の支払額	△2,670	△3,657
特別退職金の支払額	—	△30,257
法人税等の支払額	△33,416	△14,993
法人税等の還付額	2,860	12,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	236,769	35,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,306	△1,405
固定資産の取得による支出	△15,645	△20,554
固定資産の売却による収入	—	8,933
長期貸付金の回収による収入	600	600
その他	3,556	△748
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,795	△13,174
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△133,250	△183,516
自己株式の取得による支出	△23,418	△26,059
配当金の支払額	△59,913	△58,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△216,582	△268,483
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,391	△246,129
現金及び現金同等物の期首残高	2,717,030	3,218,918
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,724,421	2,972,789

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。